(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2000-295016 (P2000-295016A)

(43)公開日 平成12年10月20日(2000.10.20)

(51) Int.Cl.7		識別記号	F I				テー	73-}*(多考)
H01Q	1/06		H0	1 Q	1/06			5 J O	4 6
	1/12				1/12	:	Z	5 J O	47
	1/44				1/44			5 K O	6 7
H 0 4 B	7/26		Н0	4 B	7/26	ī	U		
			***************************************	查請求	未請求	請求項の数4	OI	、(全	5 頁)

(21)出願番号	特顯平11−100713	(71)出顧人	592007601			
			株式会社コンテック			
(22)出願日	平成11年4月8日(1999.4.8)		大阪府大阪市西淀川区姫里3丁目9番31号			
		(72)発明者	坂田 古徳			
	•		大阪府大阪市西淀川区姫里3丁目9番31号			
			株式会社コンテック内			
		(72)発明者	黄 偉龍			
			大阪府大阪市西淀川区姫里3丁目9番31号 株式会社コンテック内			
		(74)代理人	100068087			
			弁理士 森本 義弘			

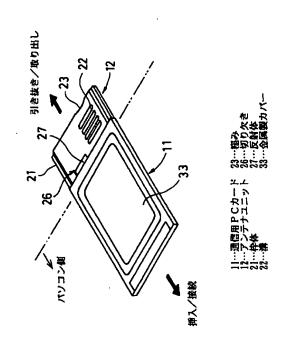
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 アンテナユニットおよびこのアンテナユニットが接続されるPCカード

(57)【要約】

【課題】 本発明は、平面アンテナを使用するとき、通 信用PCカードの状態を正確に把握できるアンテナユニ ットを提供することを目的とする。

【解決手段】 平面アンテナを収納する樹脂製の枠体21 からなり、通信用PCカード11に着脱自在に取り付けら れるアンテナユニット12において、前記枠体21に、PC カード11の送受信表示用ランプに対向して切り込み26を 設け、この切り込み26に、前記ランプから照射される光 線を外方へ屈折する反射体27を設ける。この構成によ り、通信用PCカード11にアンテナユニット12が取り付 けられたとき、切り込みの反射体27により、PCカード 11の送受信表示用ランプから照射される光線を外方へ導 かれ、PCカード11の送受信表示用ランプの状態を確認 することにより、通信状態を正確に把握することができ る。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 パーソナルコンピュータに取り付けられる通信用PCカードに接続される平面アンテナと、この平面アンテナを収納する樹脂製の枠体からなり、前記通信用PCカードに着脱自在に取り付けられるアンテナユニットであって、

前記枠体に、前記PCカードの送受信表示用ランプに対向して切り込みを設け、この切り込みに、前記ランプから照射される光線を外方へ屈折する反射体を設けたことを特徴とするアンテナユニット。

【請求項2】 切り込みは、枠体に対して斜め方向に切り欠き、切り欠きの上方が下方より開いた状態としたことを特徴とする請求項1記載のアンテナユニット。

【請求項3】 枠体に、手掛りとなる溝を設けたことを 特徴とする請求項1または請求項2記載のアンテナユニット。

【請求項4】 請求項1~請求項3のいずれかに記載のアンテナユニットが接続され、パーソナルコンピュータに取り付けられる通信用PCカードであって、

通信用プリント基板と、この通信用プリント基板を支持 20 する樹脂製のフレームと、これら通信用プリント基板とフレームを覆う金属製のカバーより構成され、前記樹脂製フレームの表面に、銅メッキまたはニッケルメッキを施したことを特徴とする通信用PCカード。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、通信用PCカードおよびこの通信用PCカードに着脱自在に取り付けられるアンテナユニットに関するものである。

[0002]

【従来の技術】ローカルエリアネットワークを構築するとき、配線の引き回し作業の手間を省き、また簡単にデータを伝送する手段として、無線LANが普及してきている。この無線LANのシステムの一例が、特開平10-164171号公報に開示されている。すなわち、図5に示すように、情報端末である携帯型パーソナルコンピュータ(以下、パソコンと略す)1と、このパソコン1に収納・接続され、周知の移動体無線通信基地局4と無線により接続され、相手先とデータの送受信を行うPCMCIAカード(PCMCIAカード型移動機)2か 40 ら構成されている。またPCMCIAカード2にはホイップアンテナ3が設けられている。

【0003】上記構成により、パソコン1と基地局4間において、PCMCIAカード2を介して無線によりデータ通信が行われる。またPCMCIAカード2のホイップアンテナ3に代えて、たとえば特開平8-84019号公報に記載されている平面アンテナを使用することもできる。この平面アンテナは、PCMCIAカード2の一部に直接固定される。

【0004】またPCMCIAカード2には、状態表示 50 て、PCカードとアンテナユニットの着脱が容易とな

のために電源表示用ランプ(LED)と送受信表示用ランプ(LED)が取り付けられる。またPCMCIAカード2のフレーム(内蔵するプリント基板を支持するフレーム)には、一般的に樹脂製のフレームが使用されるが、特に外部磁界の影響を防ぐために、電磁シールド効果を期待できるアルミニウムなどの金属製フレームが使用されることもある。

[0005]

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記平面アン 10 テナを接続したPCMCIAカード2をパソコン1に収 納・接続すると、電源表示用ランプ(LED)と送受信表示用ランプ(LED)の状態(点灯/点滅/消灯)が見にくくなるという問題があった。また平面アンテナと PCMCIAカードの取り付けが難しいという問題があった。

【0006】またPCMCIAカード2のフレームとして金属製フレームを使用すると、コストが高くつき、また重さも増し、商品性が損なわれるという問題があった。そこで、本発明は、平面アンテナを使用するとき、通信用PCカードの動作状態などを正確に把握でき、また扱いやすいアンテナユニットを提供し、さらに商品性を高めた通信用PCカードを提供することを目的としたものである。

[0007]

【課題を解決するための手段】前述した目的を達成するために、本発明のうち請求項1記載の発明は、パーソナルコンピュータに取り付けられる通信用PCカードに接続される平面アンテナと、この平面アンテナを収納する樹脂製の枠体からなり、前記通信用PCカードに着脱自なに取り付けられるアンテナユニットであって、前記枠体に、前記PCカードの送受信表示用ランプに対向して切り込みを設け、この切り込みに、前記ランプから照射される光線を外方へ屈折する反射体を設けたことを特徴とするものである。

【0008】上記構成により、通信用PCカードにアンテナユニットが取り付けられたとき、切り込みの反射体により、PCカードの送受信表示用ランプから照射される光線を外方へ導かれ、PCカードの送受信表示用ランプの状態を確認することにより、通信状態を知ることができる。また請求項2に記載の発明は、上記請求項1記載の発明であって、切り込みは、枠体に対して斜め方向に切り欠き、切り欠きの上方が下方より開いた状態としたことを特徴とするものである。

【0009】上記構成により、反射体により反射された PCカードの送受信表示用ランプから照射される光線 は、広がって導かれ、視認性が向上する。また請求項3 に記載の発明は、請求項1または請求項2記載の発明で あって、枠体に、手掛りとなる溝を設けたことを特徴と するものである。上記構成により、枠体の手掛りによって、PCカードとアンテオフェットの差明が容易とな 3

る。

【0010】また請求項4に記載の発明は、請求項1~ 請求項3のいずれかに記載のアンテナユニットが接続さ れ、パーソナルコンピュータに取り付けられる通信用P Cカードであって、通信用プリント基板と、この通信用 プリント基板を支持する樹脂製のフレームと、これら通 信用プリント基板とフレームを覆う金属製のカバーより 構成され、前記樹脂製フレームの表面に、銅メッキまた はニッケルメッキを施したことを特徴とするものであ る。

【0011】上記構成により、樹脂製フレーム表面の銅 メッキまたはニッケルメッキによる電磁シールド効果に よりPCカードの性能が向上するとともに、金属製フレ ームと比較して大幅にコストを低減でき、また軽量とす ることができ、商品性を向上させることができる。

[0012]

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面 に基づいて説明する。図1は、本発明の実施の形態であ る、通信用PCカードとアンテナユニットの斜視図であ る。図1において、11は通信用PCカード、12はこの通 信用PCカード11と着脱自在に接続されるアンテナユニ ットであり、これら通信用PCカード11とアンテナユニ ット12が接続された状態で、パソコン1に収納され、パ ソコン1内の通信インターフェイス回路に接続される。 【0013】アンテナユニット12は、平面アンテナ(図 示せず)とこの平面アンテナを収納する枠体21がなり、 枠体21は、図2、図3に示すように、平板状に形成さ れ、アンテナユニット12を矢印A側へPCカード11より 引き抜くとき、さらにPCカード11に取り付けるときの 手掛りとするために、上面21Aと下面21Bに、左右方向 30 へ複数の溝22が設けられ、矢印A側の側面21Cにこの溝 22に沿って窪み23が設けられている。また、アンテナユ ニット12のPCカード11と接続する側の端面には、平面 アンテナと通信用PCカード11を接続するためのコネク タ24と、アンテナユニット12と通信用PCカード11を機 械的に接続するための突起体25が設けられている。

【0014】また通信用PCカード11は、図4に示す、 LANコントローラやメモリが搭載された通信用プリン ト基板(2点鎖線で示す)31と、このプリント基板31を 支持するフレーム32と、図1に示す、プリント基板31を 40 支持したフレーム32を上面と下面から覆う金属製カバー 33(図4では2点鎖線で示す)から構成されており、前 記プリント基板31はフレーム32により支持され、カバー 33によりその上面と下面が覆われことによりその位置が 固定される。

【0015】上記プリント基板31には、その前面(アン テナユニット12側)に、2個の電源表示用ランプ(LE D)34と送受信表示用ランプ(LED)35が左右方向に 並べて取り付けられ、さらにアンテナユニット12のコネ クタ24と接続される第1コネクタ36が取り付けられ、そ 50 けたことにより、アンテナユニット12とPCカード11の

の後面に、パソコン1のPCカード用コネクタと接続さ れる第2コネクタ37が取り付けられる。

【0016】また上記フレーム32には、樹脂製フレーム の表面に銅メッキ (またはニッケルメッキでも良い)を 施したものを使用しており、このフレーム33には、上記 ランプ34,35より照射された光線を導く2つの孔41が設 けられ、アンテナユニット12の平面アンテナのコネクタ に接続されるコネクタ用の切り欠き42が設けられ、さら にアンテナユニット12の突起体25が嵌合されると嵌合穴 10 43が設けられている。

【0017】またアンテナユニット12には、上記ランプ 34.35に対向して切り込み26が設けられ、この切り込み 26に、ランプ34、35から照射される光線を外方へ屈折す る反射体27が設けられている。前記切り込み26は、枠体 21に対して後面の一部を切り落とし、その後、斜め方向 (上方向)に上方が下方より開いた状態となるように切 り欠いて形成され、光線の照射される範囲を広くしてい

【0018】上記構成により、通信用PCカード11を使 用するとき、この通信用PCカード11とアンテナユニッ ト12を、アンテナユニット12の突起体25をPCカード11 の嵌合穴43に差し込み嵌合させることにより機械的に接 続し、またアンテナユニット12のコネクタ24を切り欠き 42を介してPCカード11のコネクタ36に接続する。これ らコネクタ24、36の接続により機械的な接続が補助され るとともに、通信用PCカード11のプリント基板31上の LANコントローラとアンテナユニット12の平面アンテ ナが接続され、無線LAN用カードが形成される。上記 差し込みに際し、溝22と窪み23が手掛りとなり、また切 り込み26により通信用PCカード11のランプ34,35の光 線を導く孔41が斜め上方から見える状態となる。この無 線LAN用カードがパソコン1に差し込まれ、PCカー ド11のコネクタ37により、パソコン1の通信インターフ ェイスと接続される。

【0019】そして実際に通信が開始されると、2個の 電源表示用ランプ(LED)34と送受信表示用ランプ (LED) 35がモードにより点灯/点滅し、このランプ 34,35から照射された光線は孔41を通って切り込み24の 反射体27により反射されて上方(外方)へ屈折される。

また通信用PCカード11の使用を終了するとき、無線し AN用カードをパソコン1を引き抜き、通信用PCカー ド11からアンテナユニット12を取り外す(引き抜く)。 このとき、溝22と窪み23が手掛りとなる。

【0020】このように、アンテナユニット12の切り込 み24にPCカード11のランプ34,35から照射される光線 を外方へ屈折する反射体27を設けたことにより、PCカ ード11の通信状態、すなわちランプ34、35の状態(点灯 /点滅/消灯)が見やすくなり、通信状態を正確に把握 することができる。また手掛りとなる溝22と窪み23を設

6

取り付け・取り外しが容易となり、使い勝手が良くなる。

5

【0021】またPCカード11に銅メッキの樹脂フレーム32を使用することにより、電磁シールド効果によりPCカード11の性能を向上できるとともに、金属製フレームを使用した場合と比較して大幅にコストを低減でき、また軽量とすることができ、商品性を向上させることができる。なお、上記実施の形態では、切り込み26に反射体27を設けているが、この切り込み26につやを持たせて、光の反射率を向上させるようにしてもよい。

【0022】また上記実施の形態では、フレーム32に銅メッキまたはニッケルメッキを施しているが、銅メッキの上にニッケルメッキを施すようにしてもよい。このようにメッキを2重にしかも、銅メッキーニッケルメッキの順序で行うことにより、銅メッキによって高周波に対する高いシールド効果を期待でき、ニッケルメッキによってデザイン的に優れた(カバー33が金属なため色がシルバーで仕上がる)効果を期待できる。

[0023]

【発明の効果】以上述べたように本発明によれば、通信 20 用PCカードにアンテナユニットが取り付けられたとき、切り込みの反射体により、PCカードの送受信表示用ランプから照射される光線を外方へ導くことができ、PCカードの送受信表示用ランプの状態を確認することにより、通信状態を正確に把握することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態におけるアンテナユニット およびこのアンテナユニットが接続されるPCカードの 斜視図である。

【図2】同アンテナユニットの平面および正面図である。

【図3】同アンテナユニットの背面および側面図であ ス

【図4】同PCカードのフレームの正面図、平面図、側面図である。

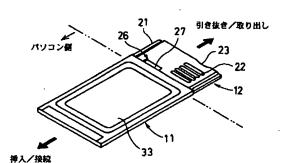
【図5】無線LANシステムの構成図である。

【符号の説明】

- 10 1 パソコン
 - 11 通信用PCカード
 - 12 アンテナユニット
 - 21 枠体

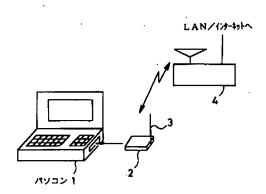
 - 23 窪み
 - 24 コネクタ
 - 25 突起体
 - 26 切り欠き
 - 27 反射体
 -) 31 プリント基板
 - 32 フレーム
 - 33 金属製カバー
 - 34,35 表示用ランプ
 - 36, 37 コネクタ
 - 41 孔
 - 42 切り欠き
 - 43 嵌合穴

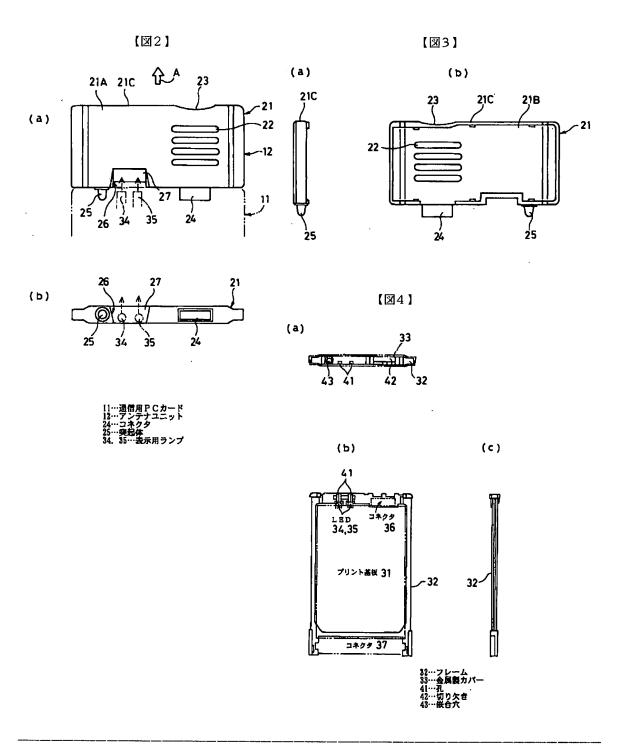
【図1】



11…通信用PCカード 23…塩み 12…アンテナユニット 26…切り欠き 21…枠体 27…反射体 22…構 33…金属製カバー

【図5】





フロントページの続き

(72)発明者 大西 宏

大阪府大阪市西淀川区姫里3丁目9番31号 株式会社コンテック内 Fターム(参考) 5J046 AA02 AB00 SA00 5J047 AB00 FD00 5K067 FF24 KK00 KK01 KK17